

学校名 熊谷市立大原中学校
所在地 熊谷市大原 3-4-1
電話 048-521-0049

1 本校の概要

本校は熊谷市のほぼ中心部にある伝統校である。校区内はほぼ住宅街・商店街であり、保護者の学校への関心も高い。

図書館は校舎一階の昇降口すぐ脇にあり、約13,000冊の豊富な蔵書を誇る。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・言語活動の充実など学力向上のための取組
- ・学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

*言語活動の充実と学力向上のため、国語の授業で次のような実践をした。

ア 読書感想文の指導

(全学年 国語科の夏休みの課題)

読書感想文を全校で取り組み、選書について指導する場面では、学校図書館の本を使いブックトークを行った。生徒は多くの図書館の本を借りて感想文を書くことができた。

イ 本のポップの掲示

(1年国語「読書教材」との関連)

自分のおすすめしたい図書館の本について、紹介文をまとめたポップを作成した。作中の言葉を引用したりイラストを効果的に使うよう指導した。過去に製作したポップを館内に掲示することで、作り方や完成後の効果の指導をした。本をPRする素材として効果的であり、多くの生徒が足を止め見ている。

* 学校図書館等の環境整備の工夫

ウ 蔵書の整理

本校の図書館は古くて利用されていない本も多い。本の購入年度や状況(汚れ、破損)を見て、利用に堪えない本の廃棄を積極的に行った。

本の購入時期や数を見直し、生徒が新着図書に触れる機会を増やす計画を立てた。生徒と職員希望図書は積極的に購入し、新着図書コーナーの入れ替え回数を増やした。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ポップの掲示と整理整頓によって明るく利用しやすい図書室になり、利用が増えた。

(2) 課題

さらなる貸し出し冊数増加のために、委員会によるキャンペーンや館内の整備を見直したい。本の整理整頓が課題であるため、分類表示の統一と配架もよりわかりやすくなる工夫をしたい。

(3) おわりに

「生徒のための図書室」をこれからも念頭において、図書館補助員さんや図書委員、先生方、PTAの方々と連携していきたい。

